

第8回「学びの共同体」公開授業研究会

去る6月15日（金）に“第8回「学びの共同体」公開授業研究会”を本校で開催しました。本校が「学びの共同体」が推進する「協同的学び」を授業に導入して、今年度で4年目になります。今回は翌日に長崎大学で開催された“第5回高校学びの共同体全国大会 in 長崎”とのリレー日程ということもあり、全国各地から多くの高校、中学校、大学、教育機関等の先生方が本校を訪れ、参加者総数172名という大きな研究会となりました。

午前中の公開授業では全クラスの授業を公開しました。午後は中心授業として川上和希教諭による3年3組「数学B」の授業を公開しました。その後、中心授業で本校生徒がどのように学びに向かっていたのかについて授業研究会を行いました。

「学びの共同体」の提唱者である佐藤学先生（学習院大学文学部教授）による講演の中では、「今、全国の高等学校の中で間違いなく（生徒が学びに向かい合っている）トップの学校」という趣旨の過分なるお褒めの言葉をいただきました。

公開授業、中心授業ともに、生徒達の学びに向かう姿にはすばらしいものがありました。普段どおり、誰も学びから逃走せず、最初から最後まで学びに向かい合う姿が見られました。協同学習の中で、生徒たちはお互いにことばを大切に、「聴きあい」を通してそれぞれが自分で思考し、個々の学びを深めていました。

一人残らず学びに向かい合う学校を目指す西彼杵高校。今回の研究会で学んだことを、生徒達の学びに還元しながら、地域の学びのセンターとしての役割も果たすべく、更に教育活動に力を入れていきます。

